令和６年１０月９日

共生システム理工学類 大橋弘範准教授が 2024 年度 環境放射能除染学会『奨励賞』を受賞

本学共生システム理工学類の大橋弘範准教授（本学放射光利用プロジェクト研究所、本学共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所をそれぞれ兼務）が、2024 年度の環境放射能除染学会の奨励賞を受賞しました。

同賞は毎年、環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する学術的研究成果が特に優れた若手研究者に贈呈される賞です。大橋准教授の最終処分研究に関連して「長年の高大連携による教育貢献」が評価されました。

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会（通称：環境放射能除染学会）は、東日本大震災と原発事故後の平成 23 年 11 月に発足された学会です。

これまで大規模除染や環境回復のための諸活動を学問分野横断的に行ってきたこの学会では、環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生に関する学術的研究成果が特に優れた若手研究者に、毎年奨励賞を授与しています。

今回、大橋弘範准教授は、小針淳氏（福島県立福島高校教諭・※1）、原尚志氏（福島県立安積高校教諭・※２）および菊池啓一郎氏（福島県立福島高校教諭・※１）と４名の連名で、令和６年度学会奨励賞を受賞しました。

受賞理由は、高校教諭３氏については福島県立福島高校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）のスーパーサイエンス部（SS 部）を指導し、ポルサイトによるセシウムの固定化に関する研究を継続的に行ってきたこと、大橋准教授については上記 SS 部を支援し、高校生による研究が学会発表レベルとなることに貢献したことです。放射性セシウムの最終処分研究に関連して、長年の高大連携による教育貢献が評価された形で、今後の高校生の研究指導、高校生を対象とした放射線教育の継続、発展を期待しての奨励賞の受賞です。

令和６年９月４日に福島県いわき市のいわき市立中央公民館・文化センターにおいて開催された第１３回環境放射能除染研究発表会において、受賞記念講演と授賞式が行われました。受賞者には、賞状と賞状付き木製楯（※３）が授与されました。福島大学関係者の受賞は、佐藤理夫氏（共生システム理工学類教授）以来３年ぶりです。

以下、授賞式および受賞講演当日の様子と、副賞の木製楯と賞状の写真です。こちらの画像を使用されたい場合は、大橋までお問い合わせください。

※１：小針教諭・菊池教諭の受賞に関するお問い合わせ先は、福島県立福島高校
（電話：024-535-2391）

※２：原教諭の受賞に関するお問い合わせ先は、福島県立安積高校
（電話：024-922-4310）

※３：副賞は賞状が入る木製のフォトフレーム状のもので、福島県産の木材を使用して製作されました。

（お問い合わせ先）
共生システム理工学類・准教授　大橋弘範
電　話：024-548-8175
メール：h-ohashi@sss.fukushima-u.ac.jp